

第 1 回教育委員会臨時会会議録

平成 2 7 年 8 月 4 日 (火)

場所：国立市役所 1 ・ 2 会議室

出席委員	教 育 長	是 松 昭 一
	教 育 長 職 務 代 理 者	山 口 直 樹
	委 員	嵐 山 光 三 郎
	委 員	城 所 久 恵
	委 員	高 橋 宏
出席職員	教 育 次 長	宮 崎 宏 一
	教 育 総 務 課 長	川 島 慶 之
	教 育 指 導 支 援 課 長	金 子 真 吾
	指 導 担 当 課 長	市 川 晃 司
	指 導 主 事	荒 西 岳 広
	指 導 主 事	植 木 淳

国立市教育委員会

午後 2 時 0 0 分開議

【是松教育長】 皆様、こんにちは。東京地方は 5 日連続の猛暑続きということでございます。本日は暑い中、会議にご参集いただきまして、まことにありがとうございます。

それでは、これから平成 27 年第 1 回教育委員会臨時会を開催いたします。

本日の会議録署名委員を城所委員にお願いいたします。よろしいでしょうか。

【城所委員】 はい。

【是松教育長】 よろしくをお願いいたします。

議題（ 1 ） 議案第 45 号 平成 28 年度使用国立市立中学校教科用図書の採択について

【是松教育長】 それでは、議案第 45 号、平成 28 年度使用国立市立中学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

議題の審議に際しまして、本日、このような広い場所での会議となっております。いろいろな都合上、マイクを使用できておりませんので、各委員におかれましては、傍聴の方もたくさんいらしておりますので、多少大きな声でご発言をいただけたらというように思いますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、この議案につきまして、最初に事務局から説明をお願いいたします。

金子教育指導支援課長、お願いいたします。

【金子教育指導支援課長】 それでは、議案第 45 号、平成 28 年度使用国立市立中学校教科用図書の採択について、ご説明いたします。

平成 27 年度の教科用図書調査研究委員会並びに教科用図書審議会の調査及び審議結果につきましては、さきに開催されました 7 月 22 日の定例教育委員会において教科用図書審議会委員長からご報告いたしましたとおりでございます。また、6 月 19 日から 7 月 9 日まで、くにたち中央図書館及び国立市公民館において教科用図書展示会を実施いたしました。市民等の皆さまから 55 件のご意見をいただき、7 月の定例教育委員会において資料として配付をさせていただいております。

本日は、平成 28 年度から平成 31 年度まで使用する国立市立中学校の教科用図書の採択となります。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

【是松教育長】 ただいま、教育指導支援課長から説明をいただきました。

それでは、審議に入りたいと思います。7 月 22 日開催の定例教育委員会で、教科用図書審議会から審議結果の報告を受けているところでございます。各教育委員におかれましては、この審議結果並びに展示会でいただいたアンケートをもとに、国立市の公立中学校にふさわしい教科用図書についての考えを深めていただきたいと思います。

それでは、教科ごとにご意見をいただきながら、平成 28 年度使用の中学校教科用図書についての採択をしていきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

【是松教育長】 それでは、最初に国語からご意見を伺いたいと思います。どなたか、教育委員の中でご意見ございますでしょうか。

山口委員。

【山口委員】 トップバッターですけれども、私が最初に発言をさせていただきます。

国語の教科は、非常に重要だと思います。考えることや想像すること、それから、言葉の持つ力で

すね。言語の感覚を養ったりする非常に重要な教科だと思います。

全体をみまして、光村図書と三省堂の二つが、ほかの教科書もよかったのですが、よりいいのかなというようなことを感じたところです。特に、光村図書が小説や古典などがバランスよく載っております。

それから、自然の取り込み方といいますか、教科書の持っている全体の雰囲気ですけれども、自然の写真があって、それが持つ感覚のような、子どもたちに伝えていくことを意図として、しっかり感じとれる、非常に興味を引くつくりになっているのかなと思います。

学習の見通し等々、ほかの教科書会社にもあるのですが、わかりやすい表組みになっていると感じております。

「季節のしおり」が季節ごとにありまして、自然との関係の中で、なかなかいいのかなと思います。

三省堂は、巻末の資料集が充実しており、その部分に強い会社なのかなと思いますけれども、見やすく、非常に参考になる部分があるので、これは検討に値するなと思っています。

以上でございます。

【是松教育長】 ありがとうございます。山口委員からご意見をいただきましたが、ほかにございますでしょうか。

高橋委員。

【高橋委員】 国語は、5社の教科書がありますが、東京書籍、三省堂、光村図書と、3社の教科書の内容が充実していると思います。

東京書籍は、話す・聞く・書くという分野の説明が丁寧で、生徒に提示しやすい。

三省堂は、学び合いを取り入れ、集団による課題解決の取り組みを重視している。こういう新しい試みをしている。

光村図書は、古典においては読みを助ける現代仮名遣いを3年生では省略しており、発達段階を考慮した編成になっている。3年生ともなると、現代仮名遣いは卒業しているだろうと、そういう編集をしているというところで、生徒の発達段階を考えているなと思いました。

この3社の中で、どれがふさわしいかという点、光村図書がいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 ありがとうございます。

嵐山委員、お願いします。

【嵐山委員】 私も、三省堂と光村図書がいいなと思って、両方とも去年の教科書と読み比べて、甲乙つけがたいのですけれども、光村図書は、以前から使っていることもあって、去年も前回もいいと推薦しました。

例えば、桑原茂夫の「ちょっと立ち止まって」というのがありますけれども、これはあまり名前を知られていない「ルビンの壺」、何遍読んでもおもしろいです。彼は、私と同じ年で「現代詩手帖」の編集長をやっていて、ルイス・キャロルの専門家ですけど、全文が出ていてわかりやすい。それから、萩原朔太郎の「竹」の詩や、大岡信さんの「言葉の力」もあります。メンバーはずらっと豪華なメンバーがそろっています。

それから、光村図書は、池上彰さんの「メディアと上手に付き合うために」が載っており、現代的なところも入れているなと思って感心しました。

茨木のり子さんの詩と、最相さんの科学に対する原稿も非常にいいと思います。殊に、3年生の部

に山極寿一さんも載っています。山極寿一さんは今、ゴリラの研究で京都大学の学長ですが、国立市の出身で、国立市の小学校から国中、それから国高と小学校からずっと国立で過ごした非常に縁のある人です。

ゴリラというのは暴力的な動物というイメージがあり、キングコングに使われたりしましたが、実は調べてみると、とても人間的な動物で物事を深く考えていかなければいけないということを、3年生のところで書いています。

小・中・高と国立で過ごした先生で、ゴリラの研究の山極寿一先生が載っているので、国立の国語としては、光村図書がいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 ありがとうございます。

城所委員。

【城所委員】 私は、光村図書と三省堂の2社に絞って、見ていきました。審議会の報告でも、光村図書と三省堂を先生方が選ばれたのだろうなというようなニュアンスを受け取りました。

三省堂の特徴として、グループでの話し合いとコミュニケーション活動という、言語活動が今、大事ではないかと言われている中で、そういったテーマのものが多く用いられているところが特徴かなと思いました。件数で見ると133件で、このあたりが特徴かなと思いました。全体的なバランスをみていくと、私は、光村図書がいいかなと思いました。

国語で、読む・書く・表現といろいろありますが、やはり最初に文章を読んで、そこから受け取ることが基本になるところかなと思ったときに、教科書としての全体的な落ち着き、文字の大きさ、行間、色使いなどが、光村図書は最も適しているのではないかなと思いました。

各社とも同じものを載せている文章が、ヘルマン・ヘッセですが、行間の取り方とか文字の大きさなどで、微妙に読みやすさや、物語が入ってくる感じとかというのは、やはり行間にある空気感みたいなところを授業では取り扱ったりするのではないかなと思いましたので、そういう構成の点からも光村図書がよろしいのではないかなと思いました。あとは、單元ごとに学習することがポイントとして書いてありまして、その文章を見せていただいても、読むということに重点が置かれている印象がありました。

資料集等も学年が上がるにつれて、同じまとめでもレベルを上げていって、学年ごとに工夫があり、発達段階に応じてまとめているところも印象的でした。

審議会の報告書の中で、光村図書は、明確な論説文と呼べる文章が少ないと書かれていますが、科学的な分析の文章や説明文を読ませていただくと、授業中、先生が引き出して、読み解いていける文章が入っているなと思いました。私としては、光村図書を推薦いたします。

以上です。

【是松教育長】 ありがとうございます。

最後に私のほうからですが、私も光村図書を推薦したいと思います。現行の教科書でもそうですが、さまざまな言語活動、あるいは表現活動にかかわる情報量が、光村図書は非常に多いということ。それから、読書案内も非常に多いですね。そういうところで、子どもたちの国語活動、国語学習に役立つのではないかなと思っています。

何よりも、先ほど嵐山委員からもありましたように、3年生の教科書の中に、国立の三小、一中の卒業生で、現京都大学学長の山極寿一先生の文章が載っているということは、何よりも国立の子ども

たちの励みになるのではないかと思います。

ちなみに今、地元の一橋大学の蓼沼学長さんも三小、一中の卒業生でありまして、この間、蓼沼学長さんにお会いしたときに、山極先生と旧交を温めていたというようなこともおっしゃっていました。今、東西の国立大学の学長さんが三小、一中からの卒業生だと知らしめる意味でも、光村図書がいいのではないかと思います。

全員から意見をいただきました。三省堂や東京書籍の評価もありましたが、全員、共通したところで光村図書の評価が高いのではないかと思います。

国語については、光村図書を採択するというところでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、国語は光村図書を採択することといたします。

それでは、続いて書写に移ります。書写につきまして、どなたかございますでしょうか。

山口委員。

【山口委員】 書写は、5社からいただいています。その中で、なぞり書きとか書き込みとか非常にやりやすく、全体として感じたことですが、やはり、実生活で非常に使うチャンスが高いもの、今、パソコンが発達して、書くことや手紙を出すことも少なくなっている中で、実際に使える項目がきちんと載っているのは非常にいいなと、各社の教科書を見て思いました。

その中で、特に東京書籍が、教科書自体は一回り大きいのですが、そのことが逆に授業で使いやすかったり、見本としてやりやすいというような部分。先生方のご意見を聞いたときも、そういう声がありました。また、ポイントが写真でしっかりと載せられているので、そのあたりも使いやすいのではないかなと感じました。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

嵐山委員。

【嵐山委員】 やはり書写は、国語と連動した本がいいと思います。東京書籍も好きですけども、国語と連動した光村図書がいいと思います。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。

高橋委員、お願いします。

【高橋委員】 私は3社、比べてみました。東京書籍、三省堂、光村図書。その中で、東京書籍は朱墨と白墨による点・画の説明が、写真を使って筆の穂先もよく見えて、わかりやすいというところが一つ評価できるなど。

二つ目は、職場訪問についての説明や自己申告書、それから願書の書き方、これは総合の時間でも活用することができる。いわゆる生徒の実生活につなげられる指導の手立てというのが詳しく記載されている、新しい傾向かなと思います。このようなところから、三省堂と光村図書もいいのですが、しいて言えば、東京書籍がいいのかなと、評価できると思います。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

城所委員。

【城所委員】 5社、見させていただいて、私は、東京書籍と光村図書に絞らせていただきました。どちらもよくて、非常に迷ったのですけれども、どちらとも、筆の先まで写真がカラーで、丁寧な筆運びまでわかるように載っていました。最終的にどうしようかなと思ったときに、東京書籍のほうが

少し大きかったので、ワークブックとして机の上で硬筆等の練習に使いやすいかなと思いました。

硬筆と毛筆の線引き用具等も、東京書籍のほうが若干、多めに載せてあるのかなというところと、先ほど山口委員もおっしゃったように、日常の生活と書くということをつなげたことで、ボリュームが結構多かったですね。実際に、葉書や封筒を書かせてみると、書けない子どもたちがふえていると聞いているので、大人にとっては当たり前のことなのかもしれないけれども、書くということ、日常とつなげていくことを授業で取り入れてやっていく必要が今、あるのだなと感じています。

私としては、東京書籍を推薦いたします。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

私は、東京書籍か光村図書だと思います。

光村図書は、何よりも楷書と行書の区別と理解をしっかりとさせていこうというところ。楷書、行書の実際の使い分けを目標とした、めり張りのある編集をされているなと思いました。

東京書籍のよさは、何といたってもページが大きく、見やすいということですね。その分、子どもたちもゆったりとした気持ちで書き方も学習ができるということ、それから、実用性にも工夫を凝らしているところでした。

私は、どちらでもいいのではないかと考えておりますが、これでいきますと、東京書籍のほうが、推される方が多いということですので、書写につきましては、東京書籍ということによろしゅうございましょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、書写は、東京書籍を採択することといたします。

続きまして、社会のほうへ移ります。社会は、地理的分野、歴史的分野、公民的分野と分かれておりますが、個別に採択を行っていきたいと思います。

まず、地理的分野について採択をいたしたいと思います。ご意見等ございましたら、よろしく願います。

山口委員。

【山口委員】 社会科は、全部そうですけれども、自分で起こっている問題をしっかりと考えて、いわゆる問題解決といいますが、そのことでいろいろ調べたり、ディスカッションをしていくということで、非常に重要になってくる教科の一つでもあると思います。

地理は、まさに今、我々が住んでいる場所のことですけれども、それが、世界の距離がどんどん近くなって、周りの国との関係、はるか遠いところのことも非常に近い存在として感じられる部分ということで、子どもたちに興味・関心を持たせることが大事な科目かなというように思っています。

全体の教科書を見させていただいて、先ほど言いました実際に考えて、いろいろ調べてということが、できる問題解決型の学習の視点が、どの教科書も入っているように思いました。その中で、特にいいと思いますのは、今言ったような資料、それをしっかりと読み取って、分析した課題を考えて解決に導くという流れです。そのあたりで、東京書籍がしっかりとポイントをつかんでいると思いました。

それから、小さいことですが、各ページの下のほうに、教室の子どもたちのテーブルがあって、確認の問題が出ていて、そこで振り返りができます。また、スキルアップとか資料の見方とか読み取りみたいなこともしっかりできるようにしてあり、活用能力のアップにつながっていくのではないかなというように思います。

載っている地図が、色彩的な部分ですが、見やすいと感じられました。東京書籍がよるしい

のではないかと考えています。

【是松教育長】 ありがとうございます。

高橋委員。

【高橋委員】 どの教科もそうですけれども、新しい教科書は、各教科書会社がよく工夫しているなというように、まず感じました。

どのような点かと言いますと、学習した内容をレポートにして発表したりするとか、さまざまな情報を集めて議論したりする活動、そういった活動をふやしているというのが特徴かと思います。ほかの生徒と協力しながら、主体的に課題を解決するアクティブラーニングを取り入れやすくしているところが、どの教科書会社も工夫しているところかなと感じました。その中で、地理的分野については、東京書籍と帝国書院の二つがいいと思い、比べてみました。

東京書籍のいいところは、確認する課題が用意されていて、授業内容をまとめたり、深めたりする学習に使うことができるというメリットがあります。さらに、資料活用能力を高めるのにもふさわしいと。

帝国書院はどうかと言いますと、内容量が豊富です。基本的な知識の習得に適していると。ただ、ボリュームが多いかなと。また、特徴的なところとしては、問題解決的な学習を促すことができるという点にあります。

総合的に判断していきますと、東京書籍がふさわしいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。

嵐山委員、お願いします。

【嵐山委員】 私は、東京書籍がいいと思います。地理も歴史も東京書籍がいいと思います。

感想ですけど、公民の教科書に載っている政党名や議員名が、現在と違っているが、これは入れかえるのでしょうか。

【是松教育長】 嵐山委員、今は地理についてお願いします。

【嵐山委員】 失礼しました。地理は、東京書籍がいいです。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 地理は、4社見させていただきました。どの会社も問題解決型になっていて、自分たちで考えて課題を解決していこうというような方向性でつくられていると見受けられました。

その中で注目して見させていただいたのが、東京書籍と帝国書院です。編集の感じが両社ともよく似ているので、結構迷いましたが、最終的に東京書籍のほうを選ばせていただきたいと思います。

全体的な構成は、文字の大きさ、色調、写真、資料等の扱いがとても丁寧で、見やすかったと思います。あまりたくさん資料が入り込むと、本文が読みづらくなったりすることもあります。本文を邪魔しないように、本文の理解を助けるような形で資料、写真等が挿入されているような印象を受けました。

地理については、小学生のときにも授業でやっていますが、小・中学校の連携も意識されていて、ほかの会社も注意をされてますけれども、小学生のときに何を学んだかというところをまず押さえて、それから中学生になって、「新しいところはここからスタートします」といった感じで、めりはりを持たせているように思いました。やはり、教科書を開いて、見やすく読みやすいというのは、子どもたちにとって、拒絶感がないというか入りやすいところだと思うので、色調とか文字の大きさは、

大事ではないかというように思いました。それと、「学習のテーマ」や「追求のテーマ」など、いろいろな記入がありまして、学習のポイントを絞って学べるような工夫も見てとれました。

帝国書院と東京書籍の始めのところは、地球儀や地図の説明になるのですが、東京書籍のほうが、どちらかというと地図、地球儀、それから世界の地図というように順を追っていく感じで、無理なくスムーズにしているような印象を受けました。

また、地図ですけれども、国の名前が赤字で記載されていて、とても見やすいと思いました。

編集の仕方ですけれども、前回よりも少し工夫がされていて、見開きで大体一単元というような感じになっているのですが、まずは、開いたときに写真とか、例えば、ヨーロッパ州だったら、開いたときにヨーロッパの写真や地図、特質などをぱっと見せてくれ、そのあと、細かい各論に入っていくというようなつくりになっています。前回の東京書籍もとてもよかったのですが、さらに工夫がされていて、見やすくなってよかったと思えました。

レポート作成等についても、各社いろいろと書いてありましたが、東京書籍のほうが、手順のまとめ方が簡潔であって、ボリュームが多いのですが、事例を見ながら、自分たちでレポートを見られる工夫がありました。その点が、一番よかったという印象を受けましたので、東京書籍を推薦させていただきたいと思えます。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

それでは、私のほうも東京書籍がいいと思えます。もう既に、各委員がおっしゃられたとおりでございます。東京書籍、帝国書院もそうですが、資料性が非常に高いというように感じました。子どもたちの地理的興味・関心を引くデータや写真が多いというのは、何よりも地理の学習に必要なことだと思います。

また、東京書籍のほうは、山口委員がおっしゃったように、地理的思考を促す工夫や、調べ学習に役立つような工夫も多くされているということでございます。したがって、私も、地理は東京書籍がよろしいというように思っております。

以上でございますので、皆さん、東京書籍で一致しております。地理は、東京書籍としたいと思います。いかがでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、社会・地理的分野につきましては、東京書籍を採択することといたします。

続いて、社会の歴史的分野をお願いしたいと思います。ご意見等をよろしく願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 歴史的分野では、非常に多くの会社が、教科書を出してくださいました。

全部読ませていただいて、歴史から現代まで、それから未来に続いていくわけですが、歴史から何をどのように学んでいくのか、非常に大切なところかなと思えました。

多くの会社が、地理的分野と関連したものを出していて、非常にいいなと思えました。歴史と地理は、ばらばらではなくて、つながっているものであって、子どもたちが総合的、立体的にわかって、それが公民に続いていくと思えますけれども、それはすばらしいことだなと感じたところです。

特に、歴史の教科書の中で一番推薦したいと思うのは、東京書籍です。日本があって、アジアがあって、また世界があって、それぞれの歴史の流れがどのように関連しているのか。昔は、非常に離れていたわけですが、それがどんどん近くなってきて、影響し合うわけですが、そのあ

たりをよくみることができるつくりになっています。

ページ下のところには、今、どの時代のことが述べられているのか、表になってわかりやすくなっている。ほかの教科書もそういう工夫があったのですが、一番見やすいなと思ったところです。

後半のページには、用語解説が載っていて、ほかの会社にもあったのですが、この言葉でどういう意味合いなのかがわかりやすくて、いいのではないかと感じたところです。東京書籍の用語解説は、歴史だけでなく、地理や公民の教科書にも出ていたと思いますが、そういうところで、東京書籍を推薦させていただきたいと思います。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。いかがでしょうか。

高橋委員、お願いします。

【高橋委員】 私は、歴史的分野は3社を特に選んでみました。

最初に教育出版ですが、他社の教科書にはないイラストや写真を使っていて新鮮だということ。それから、これはどの社にも共通していますが、資料活用能力を高める設定がされている。こういうところが特徴かなと。

それから帝国書院。こちらは資料が豊富で、小单元内で資料を読み解く課題もあって、コラムも充実している。生徒の発達段階にとっても配慮している。そういうところが特徴かなと。

最後は、東京書籍。こちらは資料が豊富で、その資料に説明がつき、より詳しくなっている。さらにいいところは、その資料の見方、調べ方の記述があって、資料活用能力を非常に高めやすい。それから各单元、小单元ごとの課題学習は引き続き、東京書籍の長所にもなっている。

調べ学習の方法や図書館の利用法、地域学習の進め方など、主体的な学習方法を組み込んだ構成、これは非常に魅力的です。

さらには、右下の確認欄は内容を深めたり、表現力、思考力の向上につながる問いかけがあるなど、工夫がされている。こういったところを、3社比較していきますと、東京書籍がすぐれているのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

城所委員。

【城所委員】 歴史は8社、見させていただきました。

会社によって、興味深い資料や写真、体験者の声などがいろいろ入っていて、とても勉強になりました。

その中で、一番バランスがとれているのは、東京書籍ではないかと思いました。先ほどの地理と同様に、問題解決型で歴史の学習を進めていくベースになっていること、小学生のときに学んだことの振り返りをして、それから新しいものに入っていくという流れが、地理と同様にわかりやすいのではないかなと思いました。ほかの会社でも、そのようなつくりはあるのですが、流れとして一番わかりやすい印象を持ちました。

見開き2ページで一单元というところで、あまりにもボリュームがあって資料が多過ぎると、先生方も手に負えないということが起きるかもしれないので、1時間の单元で十分に耐えられる内容で見させていただくと、東京書籍の内容、量等が適切ではないかと思いました。

それと、先ほど山口委員がおっしゃったように、ページの左下に年表が入っていますが、これは前

回と変わったところだと思います。結構、子どもたちは、16世紀と1600年代が混乱してわからなくなってしまうことがありますので、今やっているところが、流れの中でどこかということが、この年表を見ればわかると思います。ちょっとしたポイントというのは、小さいようで結構大きな助けになりますので、そういったところはありがたい工夫だなと思います。

それから、先ほど言ったように、文字の大きさとか色調等も大事だと思うので、華美だったり、少し薄かったりすると、何がどう重要なのか、わかりづらくなってしまおうと思うので、そういった点からも、東京書籍がよかったと思いました。

市民の方からたくさん要望をいただいたのは、この歴史の教科書と公民の教科書ですけれども、特に、皆さんからいただいた意見を重点的に見させていただくと、ちょっとした「てにをは」とか、語尾の違いとか、そういう違いは各社いろいろと見られました。

その中でも、東京書籍が広く客観的に淡々と述べている印象がありました。問題解決型を今、流れとしてやっていますので、一方的に子どもたちに知識を与えて覚えさせるというよりは、知識を与えてそれを活用して、子どもたちがそれをどう学んで使っていくかということに、重点を置いて授業が成り立っていると思います。

バランス的に、東京書籍の教科書を私は推薦させていただきたいと思います。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。

嵐山委員。

【嵐山委員】 東京書籍がいいです。

歴史は、お話ですよ。つまらなくなってしまうと、先生の力量によって、お話を入れておもしろくします。おもしろいとずっといけるのですよ。

だから、ここに出てくる「ここ見て、歴史にアクセス、ペリーの外交とお台場」とか、ページごとに囲みがあって、効果的にお話が入っている。こんなことがあったというエピソード。それが、受験勉強のように何が何年に起こったかとか、ただ覚えるだけになると、歴史は急につまらなくなってしまう。東京書籍の教科書は、中学生の歴史に対する興味を刺激する編集になっている。

それから、皆さんおっしゃってますが、ページ下に年表があるのは、編集が非常にうまいですよ。東京書籍は、いろいろと細かいところにまで気を遣ってつくっているの、推薦いたします。

【是松教育長】 ありがとうございます。

私も東京書籍がいいと思います。各委員からおっしゃっていただきましたけれども、何よりも資料が多いということです。これは逆に言うと、教科の中で教員が使いこなせるのかという心配もございますが、やはり、資料を子どもたちに提供する、さまざまな資料を提供することが、まず第一義的に必要だというように思います。子どもたちは、こういったさまざまな資料を活用して、歴史的事象を多面的、多角的に考察して、自分たちとしての歴史の判断をしっかりとつくっていくことが大切だと思っております。そういった意味では、東京書籍がいいと私も思います。

以上ですので、皆さん、東京書籍ということで意見が一致しております。よろしゅうございますでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、社会の歴史的分野については東京書籍を採択することといたします。続いて、社会・公民的分野について、よろしく願いいたします。

山口委員、お願いします。

【山口委員】 公民は多分、中学校の最終学年で勉強する機会が多いのではないかと思います。それまで、地理と歴史の関係の中で、今、自分たちの置かれている状況、特に、個人の尊厳とか人権、社会の問題、国際的なさまざまなこと、平和のこととかいろいろあります。これから先の社会、どうやってつくっていきけるのだろうかということのベースを学ぶところで、非常に重要なと思うし、逆に難しいし、先生の力量が問われているところかなというように思っております。そういうことで、各教科書、全部工夫をされていて、それぞれの思いを持ってつくられているなということを感じたところです。

私が推薦をしたいのは、東京書籍です。今までの地理、歴史も東京書籍でしたので、その関連の中で言うと使いやすい部分ももちろんあると思うのですが、まず最初に「公民にチャレンジ」というコーナーがあって、そこでしっかりと考えさせる。ひとり、それからグループで考えて、そのあと「公民にアクセス」ということで、深めたり広がりを持ったりとか、問題解決型の学習ですが、しっかりと自分たちで考えましようということですね。最初に言いましたように、地理とか歴史との関連性も十分にあるというように思いましたので、東京書籍を推薦したいと思います。

【是松教育長】 ほか、いかがでしょう。

高橋委員。

【高橋委員】 私は、3社に絞り込んでみました。

まず、教育出版です。この3社に共通しているのは、生徒の興味・関心を高める工夫をしているところだと思います。教育出版は「ステップ1」というところで、基礎的な知識・技能の習得、「ステップ2」では、思考力・判断力・表現力の育成、言語活動を高める工夫がされている。これは学力の3要素を意識した編集になっています。

帝国書院ですが、単元の初めに提示されている資料というのが、その単元の導入にふさわしく、関連性の高いところが評価できると思います。さらに「学習を振り返ろう」というところで、生徒の発達段階に適した内容になっていると。

最後に東京書籍。こちらは「公民にチャレンジ」というところで、個人やグループ学習を積極的に取り入れ、まさにアクティブラーニングを意識しているなというように思いました。特に章の終わりの学習のまとめの内容が、生徒の発達段階に配慮している。資料や図が大きくて見やすい。説明がわかりやすい。生徒の興味・関心を高める工夫がされているところから、総合的に判断して、東京書籍がいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 7社を見させていただきました。私も最終的には、東京書籍と帝国書院を中心に、見させていただきましたが、東京書籍に絞らせていただきました。

地理、歴史と東京書籍を選ばさせていただきましたが、学年を上がるごとに、同じ編集の教科書のほうが子どもたちも見やすいのではないかとということと、3冊で一つのことを3冊で補っていくようなつくりにも見てとれましたので、3年かけて社会の科目を完結していくような印象を持ちました。

公民の教科書は、いろいろなことのベースになると思うのですが、自分たちの国の理解とか、ほかの国の理解とか、今、グローバルな視点ということが盛んに言われてますけれども、まず、自分たちの国がどのように運営されているのか、どういう国なのか、文化はどのようなのかということを読んでい

く、そういうことも公民でされていくと思います。

国際理解と言われても、世界のつながりの中で日本がどうであって、どのように生きていくのかというところの視点でも、エネルギーや貧困やテロということが、世界的な視点で、書かれているのはどこの会社も一緒ですけども、全体的なバランスとして東京書籍がいいのではないかと思います。

参考の巻末資料のほうも結構充実をしていて、憲法も全文載せてあって、さらに、用語の解説等も丁寧に載せてあったので、授業中もし扱えば、そのあたりも子どもたちに読みやすいのではないかなという印象がありました。

それから、東京書籍の3年生の最後に、「よりよい社会を目指して」というところがありますが、そこがとても印象的でした。社会の課題を自分たちで見つけ、解決のための取り組みを考え、可能な社会を実現していく、その探求をしていこうと。それが社会であるというような書き方をしていました。ぜひ、そのように問題解決型ということで、授業がなされていると思いますが、公民・歴史・地理、すべてを横断したまとめということで、地理や歴史等の関係からみても、今回も東京書籍を推薦させていただこうと思いました。

【是松教育長】 嵐山委員、公民のほうです。

【嵐山委員】 先ほど言いました。これが内閣ですね。

【是松教育長】 そうですね。もう違ってますね。

【嵐山委員】 これは変えてもらいたいね。社会は3冊全て東京書籍でいいと思います。

【是松教育長】 それでは最後に、私も東京書籍がいいと思います。

東京書籍の公民の資料の中に、政党代表者の写真と名前が載っていますが、維新の党は、まだ江田さんのままになっております。この件について心配でしたので、直接、東京書籍のほうに電話をかけて聞きましたところ、「次の新しい教科書として子どもたちに渡すときには、必要な修正は加えます。その段階で一番新しい情報を載せていきます」ということをおっしゃっていました。これも、なるべく子どもたちにいろいろな資料を提供しようという社の姿勢なのだろうなと理解しております。特に領土やエネルギー問題、持続可能な社会の実現や我が国の領土問題ということが大きくクローズアップされている中で、子どもたちがみずから考え、判断し得るさまざまな事実や考え方を、詳しくその資料として提供していくという意味で、東京書籍の編集がいいのかなと思っているところです。

それでは、社会の公民についても、東京書籍ということでよろしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、社会の公民的分野については、東京書籍を採択することといたします。続いて、社会の地図についてよろしく願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 地図は、東京書籍と帝国書院から中学校社会科地図帳ということで、出されております。

東京書籍は、資料を工夫されていたり、写真が多い印象で、非常に見やすいように思いました。しかし、帝国書院の地図のほうが、色や構成の問題だと思うのですが、全体的に見やすい感じを受けました。ということで、帝国書院を推薦したいと思います。

【是松教育長】 高橋委員、お願いいたします。

【高橋委員】 帝国書院か東京書籍か。この2社に絞られてくると思います。その中で、帝国書院は情報量が大変豊富であるということ。先ほどの山口委員と同じです。さらに、問題解決的な学習に

非常に適している。こういうところを判断して、帝国書院がいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 昨年の小学校の教科書採択のときも、東京書籍と帝国書院を見させていただきました。どちらも情報量がたくさんあって、資料が豊富なのですけれども、色調が見やすいとか構成がいいということで、昨年同様、帝国書院の地図を中学校でも推薦させていただきたいと思います。

【是松教育長】 嵐山委員。

【嵐山委員】 地図と言えば、帝国書院。

【是松教育長】 私も2社を見比べた中で、地図が見やすく読み取りやすいということ、それから、日本国と世界の関連性が非常に明確であるということで、帝国書院がよろしいかと思います。

それでは、地図につきましては、帝国書院でよろしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、社会・地図については帝国書院を採択することといたします。

続きまして、数学でございます。数学について、よろしく願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 数学は7社から、教科書を出していただいております。

生徒たちが学びやすいように、それぞれ工夫をされている状況です。特に、算数から数学へ、小学校から中学校へ変わっていく段階ですので、そのところがスムーズに入れるように工夫をそれぞれされているなと思いました。

特に、問題解決型学習ということを皆さん、意識してつくっていただいているなと思いますのと、それに伴うのですが、学び合いをするような場面設定が出てきたり、ノートの取り方、これは若干差があるのですけれども、しっかりと教科書の中に取り入れられて、利用しやすい形でつくられているなと思いました。

東京書籍ですと、学び合いのページ、数学マイノート、啓林館だと、それよりも少しページ数をかけて丁寧につくられていたりとか、各社、そのようなことを感じました。

全体を見させていただいて、数学は東京書籍を推薦したいと思います。

理由の一つは、章末にそれぞれA問題、B問題が出てまして、習熟度別に学ばせやすいつくりになっているということと、問題数も、全部解けて解説ができるぐらいの量なのかなと思いました。もう少し多いと消化不良になってしまう部分もあると、先生方のご意見など聞く中でもあったものから、ちょうどいい量だと思いました。

あと、社会とつながるコーナーも設けられていて、数学が自分たちの生活とつながっていることを意識させるつくりになっているので、東京書籍を推薦したいと思います。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。

高橋委員、お願いいたします。

【高橋委員】 私は、3社に絞り込みました。

まず、学校図書です。これは巻末に課題学習、自由研究というページがたくさんあって、生活に関連する内容になっている。そういったところから、数学に対して興味・関心が高まる。こういう特徴があると思います。それから、章末の演習問題の量は適切であると。ただし、1年生の方程式の初めに不等式を扱っており、等式より先に不等式が出てくるといのは、生徒にとって理解しにくいので

はないかと思えます。

啓林館。こちらは例題にタイトルがついていて、目的が明確になってわかりやすい。ただ、章末の演習問題量が多くて、すべて解説することが難しいのではないか。こういった意見が審議結果の報告にもありました。

教育出版などは自学自習には適した教科書で、非常にわかりやすくできているのですが、授業で使う教科書は、問題解決的な学習ということで判断していきますと、東京書籍がいいのではないかと思えます。東京書籍は、構成の仕方が生徒の理解を深めるのに非常に順序立てて効果的につくっている。それから、問題解決的な学習を意識していて、授業で使いやすい。関連して、ノートづくりもしやすいといったところがあります。さらに、間違い例の問題があって、巻末に間違い直しの答えがあり、確認できる。非常によいところではないかと思えます。数学は間違えて、さらに学習を進めていくところがあるので、こういった編集は評価できるのではないかと思えます。

総合的に判断して、東京書籍がいいのではないかと思えます。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。いかがでしょうか。

城所委員。

【城所委員】 数学についても、どの社も問題解決型を意識したつくりになっており、日常生活と数学をつなげる工夫にページを割いているところが特徴だなと思いました。また、キャラクターを使って吹き出しで話をしたり、イラストが入っていたり、そういう工夫がどの会社でも見られました。

先ほどお二人の委員がおっしゃったように、問題練習量が授業中に適切かどうか、先生方が全部、授業中に解説できるかどうか、量やバランスなども見させていただきました。

それと、イラストについては、あまりかわいらし過ぎると中学生にはどうか、というところがありました。全体的なバランスで、数学も東京書籍を推薦させていただこうと思えます。

前回は東京書籍を採択しているのですが、見比べさせていただくと、前回よりもさらに構成が整理されていて、問題解決型ももっとスムーズにいくような運びのつくり、例えば、イラストの吹き出しのちょっとした質問などが、工夫されているなと思いました。

細かい部分の構成ですけれども、例えば、分配法則のところ、アルファベットだけの式で表示されている会社と、ちょっとした図を入れている会社がありました。あまり色が目立ち過ぎると、本文から邪魔になったりすることがあると思うのですが、東京書籍の場合は、そういう細かいところに、かゆいところに手が届くではないのですが、式と一緒にちょっとした助けになる図を入れたりするので、イメージしづらい子どもたちが理解をできるような工夫を随所に行っているところがみられました。

巻末の問題も十分につくられていると思えます。

側面に見出しがついているので、今どこをやっているのか、ぱっと開きやすいとか、目次の編集の仕方も、先ほど同様に小学生で学んだことがメモ的に入っていたりとか、これからどういうことをするのか目次でぱっと引けて、今調べたいところが調べられるとか、学習する上で使いやすいつくり方がされておりました。

審議会からの報告の中で特徴的だったのが、系統的に素因数分解の流れというところは、東京書籍のみ平方根で扱っているらしいのですけれども、数学の先生によると、子どもたちにとってスムーズな流れであるとおっしゃっていたので、そのあたりもポイントかなと思いました。

以上です。

【是松教育長】 嵐山委員、数学はいかがでしょうか。

【嵐山委員】 東京書籍がいいと思います。

3年生になると、関数 $y = x$ の2乗のグラフがありますけれど、ここからわからなくなるのですよね。でも、自分が3年生のときは、もう少し先に進んでいたような気がします。この関数のグラフ、ここが分かれ目で、ここがわからないと先に進めない。関数の説明や幾何学の説明を丁寧にしていて、非常によくできているので、東京書籍が抜群がいいと思いました。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。

私も東京書籍を推したいと思います。各委員からもおっしゃっていただきましたが、単元の展開が、生徒にとって非常に理解しやすいように工夫されているということ。それから、何よりも巻末の社会とのつながり、あるいは他教科とのつながり、それから数学の歴史というような、一見、無駄ではないかというような内容の資料も、数学への興味・関心と広い実用性を理解させる意味ではいいのではないか。数学は、難しいだけではなく、必要な教科だということを子どもたちに学習させる面では、大変役に立つように思っております。そういった意味で、私は、東京書籍を推したいと思います。

それでは、数学は皆さん、東京書籍ということですので、東京書籍でよろしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、数学は東京書籍を採択することといたします。

続いて、理科についてお願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 理科も小学校から中学校になって、高度になったり詳しくなったりしていて、このつながりが非常に重要な教科の一つだと思いますけれども、全部で5社、出していただいております。理科は、実際に起こっている身の周りの自然現象についてかかわって、関心を持って、そのことに興味を持って深めていくことができる。問題解決型の授業に一番ふさわしいのかなと思います。若干の濃淡はありましたが、それぞれの教科書が意識されてつくっておられて、いいなというように思いました。その中で、しっかり目的意識を本人たちが持っていけるのかどうか。これから先、そういう探求する、調べていったりとか研究したりとか、深めていったりするような能力の基礎をつけることができるのかどうか。それを含めて周りの物事に関する自然の事柄、現象について理解を深め、ベースとしての科学的な見方がつけられるかどうかということが重要かと思います。それで、身近なところからしっかりと教科書がつくられているかどうかということで、全部の会社を見させていただいて、今までもそうでしたが、教育出版は非常に丁寧に、きめ細かく、やさしくつくられているなと感じたところで、勉強しやすいのかなと思います。

学校図書も、勉強していく流れというのはしっかりとつくられていて、「物質の現象」のところから教科書をスタートしているのが特徴です。

啓林館、これはほかの教科書も同じですが、マイノートがありまして、それで興味を一段と深めたり、整理しやすい部分もあるのですが、一方でそのノートが教科書から分かれてしまうものから、ほかの教科の場合も同じなのですが、そこが難点というのがあると思います。

東京書籍は、勉強していく流れが非常に丁寧に書かれていたり、ノートの書き方、考察の仕方のような内容もしっかりと載っています。それから一ついいなと、ほかの教科書にもあるのですが、安全に関する記述というのが、1年生の最初のところから出ていて、安全は、実験など行う際に伴っ

てきますし、観察もそうですけれども、器具の使い方も含めてしっかりと教え込んでいくという、ベースとして大事なかなと思います。ポイントポイントで、安全に関する記述がしっかりあるかなと思いました。

大日本図書です。最終的にここを私は推薦しようと思っておりますが、まず、スタートが、身近な植物のところから入っていて、子どもたちが入りやすいと思います。これは、小学校からの流れの中でいいのかなと、私自身は感じております。最初の観察について、「理科の勉強はこうします」といったことをしっかりと教え込むことにページ数を割いて、方法や記録、注意事項など、身近なところをしっかりと学べるということは非常にいいかなと思いました。

それから、最後にまとめの終章というのですかね、終わりの章にもよいところがあって、「まとめ」と「次へのステップ」ということで流れがつくられているのも、子どもたちにとって、また教員にとっても教えやすい部分であるのかなと思います。

3年生の最後に、地球の明るい未来のために何をしなくてはいけないのか、ほかの教科とも関連しますけれども、しっかり考えさせるような内容になっていると思います。色彩とかレイアウトも見やすいかなと思いました。

全体を通して、先ほども言いましたけれども、各社とも小学校で学んだこと、それからのつながりというのをしっかりと工夫しているかなと思いました。

以上です。

【是松教育長】 ありがとうございます。

高橋委員さん。

【高橋委員】 理科は、各社とも写真、資料が非常によく工夫されているなと感じました。

その中で、東京書籍と大日本図書の2社に絞り込みました。各社ともそれぞれ、長所と改善すべきところがあるわけですが、この2社が決定的なのは、1年生は植物から始めていくところです。小学校を卒業したばかりのまだ幼い中学生が、この身近な植物から学習を始めるというのは非常に有効で、逆に難しいところから始めて理科嫌いをつくるよりはすぐれているなと、そのように思いました。

さらに、問題解決的な学習の流れに沿っている点です。その中で、東京書籍は写真が多いのですが、小さくて見づらいものもある。比較して、大日本図書のほうは地震の計算、これは非常に計算方法が詳しく記述されていて、生徒の理解を助けるものになっている。小学校との関連の記載が要所があって、終章があって、問題解決学習に有効であると思います。

ただ、欠点がないわけではなく、地球と宇宙の単元では天体の動きから始まっているので、計算や空間図形の認識が苦手な生徒にとっては取り組みにくい。これを改善している教科書会社もあるわけですが、こういうところは、授業の進め方等によって改善できるのではないかなということ、大日本図書がいいと思います。

以上です。

【是松教育長】 嵐山委員。

【嵐山委員】 大日本図書は、おもしろいですね。1年生の教科書に地震のことが、非常に詳しく書いてあります。P波、S波とか、勉強になります。「なるほど」と思って読んでしまいましたから。特に、震度とマグニチュードの違いは何だとか、基本のところから入ってまして、中学生1年生にこの計算をされたら、びっくりしてしまいますね。232 ページの地震の問題で、初期振動が20秒続いた地点Aは、震源から何キロメートル離れていたかという計算を、中学1年生がしたら、びっくりし

てしまいますよね。

図案がわかりやすく、きれいでいいですね。地震のことをこれだけ丁寧にわかりやすく載せていて、それが終わると、地層のほうに移っていく。グランドキャニオンのダイナミックな編集もすばらしく、大日本図書の理科がいいと思います。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 各社、見させていただきました。先ほど皆さんがおっしゃったように、資料や写真等にたくさんの工夫があって、どれも素敵にできていたと思います。

その中で、全体的にバランスが一番よかったなという印象を持ったのが大日本図書です。前回のときも大日本図書を採択しているのですが、前回と比較してもさらに丁寧なつくりになっていました。例えば、目次が丁寧になっていて、振り返りがしやすいとか、単元の初めのところに小学校で学んだ内容の写真や学年等が入っているとか、見開きでこれから学ぶことが一覧で紹介されているとか、そういう見通しが前回よりも見やすく、さらに工夫されているなと思いました。

理科は実験等が多いのですが、見開きにして、会社によっては、右ページの下あたりに結果が書かれていたりするところがあるのですが、大日本図書の場合は、開いて、実験まで書かれていますが、ページをめくってから、その結果とか考察の仕方というように、編集が全部統一されています。子どもたちにとっては、先がわからないで実験をして、さらに教科書で確認をしてという流れのほうが、授業中、取り扱いがしやすいだろうなと思いました。

基本的な実験の操作等も、各社、多種多様にあったのですが、注意点がたくさんあると、それはそれで大変で、あまり書かれていなくても、それはそれで大変でということがあると思います。その中で、大日本図書が一番バランスよく安全面や操作上の注意等が書かれていたように思います。不足の分は、授業中、先生方に補って授業をしていただければ十分ではないかと思いました。

それから、レイアウト、色、文字の大きさ等がとてもすっきりしていて、また、余白も少し残している感じなので、目いっぱいぎゅうぎゅうに詰め込まれていると、情報をとるのに大変なところもあると思うので、少し余裕を持ったつくりになっているのも大きいのではないかなと思います。

それから、単元末の問題もカラーでつくられていて、問題を解きながらそのままとめに活用できるところもいいと思いました。

細かなところですけども、1年生の「物質について」という項目で、流れとして、有機物をやってから無機物といったように、別々に扱うほうが、区切りがあってわかりやすいのではないかと思いました。さらに、プラスチックについての写真や説明が各社いろいろ載っていますが、文字と写真と説明が一括で表になっているので、一番見やすいと思いました。文章がこっち、写真がこっちというと、あっちにいたりこっちにいたり、目線がちらかってしまうかもしれません。一括で整理されているところが随所に見られましたので、資料としても十分に整理されていると思いました。

天体のところについて、審議会の結果から、空間認識が苦手な子どもたちにはどうか、ということがあるのですが、取り上げている写真と資料が非常に多く、他社も多いですけども、その写真のすごさを使えば、空間が苦手な子どもでも興味を引き出せるかもしれないので、そのあたりは先生方の授業で補っていただけないかなというように思いました。

細かなところですけども、例えば密度の計算式のところに、小学校5年生でやっている割り算の式の応用が、小さく載っているんですけども、計算等が入ることで、つまずいたり、そのままになってしまうといったこともあると思うので、過去の既習事項を使いながらやっていけるような工夫を

している点でも、大日本図書がいいのではないかなと思いました。

先ほど、山口委員がおっしゃったように、3年生の最後の単元で知識をもとに、それぞれ未来を考えていこうというような締めになっていて、今の時代に合ったつくりになっているなという印象を持ちました。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。

皆さん、大日本図書ということで、私も大日本図書でよろしいかと思います。

私が一番いいなと思ったのは、先ほど城所委員もおっしゃっていましたが、単元ごとのまとめ、それから、単元末の問題がカラー化されている点です。これは、ちょっとした工夫なんですけど、非常に取り組みやすいなというように思いました。それから、これもおっしゃってましたかね。学習の課題の掲載、位置、それからフォントというのが非常に的確に配置されていて、子どもたちの興味を引きやすいようなレイアウトになっているというところは、いいなと思いました。したがって、私も大日本図書で採択をしたいと思います。

それでは、皆さん意見一致しておりますので、理科については大日本図書でよろしゅうございますでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、理科は大日本図書を採択することといたします。

【宮崎教育次長】 概ね半分まで進んでおりまして、時間も1時間15分ほど経過いたしました。ここで10分程度休憩をとったらいかがでしょうか。

【是松教育長】 それでは、ちょうど半分ほど進んでまいりました。1時間程度経過いたしましたので、これから10分ほど休憩したいと思います。

再開時間を3時25分といたしたいと思います。よろしく願いいたします。

午後3時15分休憩

午後3時25分再開

【是松教育長】 それでは、休憩を閉じて、会議を続行いたします。

引き続きまして、音楽・一般について、音楽は一般と器楽合奏に分かれておりますが、まずは一般からということでご意見、よろしく願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 音楽・一般も器楽も2社ずつ、教科書をつくっていただいております。

音楽・一般も器楽もそれぞれ、現場の先生方が教えやすい部分と、習う生徒たちがそこに興味・関心を持って入り込めるものというのが、一番大きなポイントかと思えます。

教育芸術社は、現行の教科書ですけれども、音楽学習マップというのがありまして、その中で、学習する内容やポイントがわかるように工夫をした表記になっていて、学びやすく、教えやすい部分でもあるのかなというように思えます。

全体的な教科書の雰囲気ですけれども、2社で全然違うというか、それぞれ特徴的ですけれども、音楽への思いというようなものがあって、教育芸術社は、日本の和のところから古い時代の写真、それから世界へ広がっていくような受け継がれる思いみたいなことまで馳せた写真が載っていて、それを音楽の思いとして出そうとしている。さらに、指導に役立つような発声法とか、そういった内容が多く出ているのかなと思いました。

教育出版社は、さまざまな工夫で人物を出して、その人たちがどういう音楽を出しているのか、どういう人なのかということを書いていて、興味・関心を持たせるような形です。それから、もう一ついいなと思ったのは、音楽の持つよさ、教育の現場での音楽などですね。リハビリ等々で使われる音楽療法のことまで言及されているのは、非常におもしろいなと思って関心を持ちました。

全体的にみて、教育芸術社のほうが使いやすい教科書だと思い、推薦をいたします。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

高橋委員、お願いいたします。

【高橋委員】 教育出版と教育芸術社を比べてみて、教育出版のほうは、日本の歌で写真や解説が多いということ、それから、発展のコラムが、発達段階に応じて基礎的事項も的確、そういうところは評価できると思います。ただ、小学校でよく歌われている合唱曲が多く載っているところがどうかということで、審議会の報告書にもありました。歌唱教材が以前、小学校や中学校で扱われていたものが多いということも、ちょっとどうかなというように思いました。

教育芸術社のほうは、長唄や民謡、五線譜を使わずに歌詞譜というもので示しているところが特徴であると思います。「確認しよう」とか発声とか指揮、特に指揮のコーナーでは1年生から系統性がある、非常に指導しやすく有効であると、こういった特徴があって、総合的に考えて、教育芸術社がよいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 ほかにいかがでしょうか。

城所委員。

【城所委員】 2社を見させていただきました。小・中学校の連携の視点から見させていただくと、小学校でも教育芸術社のほうを使用していますので、選曲等が、かぶらずにすみますので、教育芸術社のほうがよいのではないかと思います。

それから、中学校では合唱コンクールといった大きな行事があります。その際に発声とか指揮等、結構、学校でも力を入れて指導しているのですが、教育芸術社のほうは、1年生から3年生まで、指揮のページを開くと、左のページに基本的な項目が書かれていて、右のページにそれぞれ、1年生、2年生、3年生と段階を追ってレベルアップしていく内容が書かれているところがとても特徴的でした。その際のイラストがかなり詳しくリアルで、手の振りや体の使い方、表情等まで、細かく書かれているので、指導しやすいということが報告書にも書かれています。

教育芸術社のほうは、1年生で変声期についても図を入れて細かく書かれています。合唱コンクールがありますが、1年生の男の子は苦戦するところですが、そのあたりも助けてくれるのではないかなと思いました。全体的なバランスから、音楽は教育芸術社を推薦させていただきたいと思います。

【是松教育長】 嵐山委員、音楽関係はいかがですか。

【嵐山委員】 教育芸術社。同じです。

【是松教育長】 私は、教育芸術社は、確かに音楽技法あるいは歌唱法といった技能的な面を重視した教科書だだと思います。いわゆる音楽のプレイヤー、あるいはシンガーを育てていくという上での教科書かなと思います。

一方、教育出版は、子どもたちに音楽の興味・関心を幅広く持たせていこうという意図での編集が

なと思います。毎回、冒頭に日本のミュージシャンが掲載されておりまして、今回はバイオリニストの庄司紗矢香さん、津軽三味線の上妻宏光さん、演出家の宮本亜門さんというような方が、大きく載せられています。ポピュラー音楽図鑑にも非常に詳しく書かれていますね。

私は音楽は、プレイヤーやシンガーになるのも必要ですけれども、大半の子どもたち、健全なる音楽の楽しみを知るリスナーであってほしいと思っています。そういった意味で、音楽リスナーとしての素養を育てていくということでは、教育出版がいいなと思っておりますが、皆さん、教育芸術社ということですので、別にどうしてもということではございません。教育芸術社でよろしゅうございますでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、音楽・一般については教育芸術社を採択することといたします。

続いて、音楽の器楽合奏についてをお願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 器楽についても、2社から出されております。両社とも生徒が入りやすい、非常になじみのある曲を選んでおりまして、興味・関心を持ちやすい部分であるかなと思います。

特に違いでいうと、教育芸術社のほうが打楽器の種類を多く載せています。国立はいろいろなことをやっていますので、そういった意味では教育芸術社のほうがよろしいかと思えます。

以上です。

【是松教育長】 いかがでしょうか。

高橋委員。

【高橋委員】 学習指導要領に和楽器が入ってきてから、和楽器というのが現場の音楽教師にとっては大変指導しやすいということですので、メリットのある教科書だなと思います。そういった点で考えますと、太鼓を演奏するときの構え方とか技法の写真というのが、この教育芸術社は非常にわかりやすいので、教育芸術社がいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 私も、皆さんおっしゃっているように、和楽器等の演奏の写真が奏者の目線で撮影されていたり、細かい割で写真が載せられていたり、資料が入っていたりしていますので、器楽のほうも教育芸術社を推薦させていただきたいと思えます。

【是松教育長】 嵐山委員、よろしいですか。

【嵐山委員】 いいですよ。

【是松教育長】 私は、器楽合奏の場合は、まさにプレイヤーですので、その奏法的に楽器の扱い方をどのくらい詳しく載せているかということに尽きると思えます。

教育芸術社は、リコーダー、ギター等、一般的な楽器についても非常に、演奏方法を詳しく載せております。特に、ギターなどはストローク奏法、それから代表的なコード等がしっかり載っております。そういった意味では、器楽合奏の場合は教育芸術社でよろしいのかなと思っております。

それでは皆さん、教育芸術社ということのようですので、教育芸術社でよろしゅうございますでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、音楽・器楽合奏については教育芸術社といたします。

続いて、美術についてお願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 三つの教科書会社から出されております。

全体の印象で、非常にきれいでカラフルで、見やすくする工夫を全部の教科書会社がされていると思いました。美術の教科書を見ているだけで心がなごむような感触を受けたのが印象でございます。全体として、作品の質や量、取り上げ方、見やすさなどがポイントになってくるのかなというように思っで見させていただきました。

日本文教出版は、一回り大きな教科書でB5のワイドという大きさですかね。美術のところで大きいと、作品に迫力が出てくる部分が非常にあるなというような感じで見させていただきました。

ほかの会社は2分冊ですが、日本文教出版だけが3分冊になっているので、そこが少し使いにくさもあたり、生徒がうまく整理ができないというようなことも、その教科書を使っていた教員から、ちらっと聞いた部分でもあって、使いにくさというのが若干あるのかなと思います。

光村図書は、谷川俊太郎さんの詩が載っており、心の部分というのが導入されていて、非常にいいのかなと思いました。見出しや構成が、さすがに慣れていて、全体に見やすくされているなと思いました。

開隆堂は、今現在、国立市で使っている教科書ですけれども、「美術って何だろう」というようなページがありまして、学習の目的ですね。そのあたりがわかりやすく提示されているのかな、示されているのかなと思ひまして、導入の部分としては、使いやすいのではないかと思います。さらに、原寸大の作品を載せるなど、新しい工夫をされたり、ちょっとした工夫なのですが、見開きページのあけるところを少し小さ目につくっているのも、非常にあけやすく、とじるときも、そこが折れにくいというような工夫がされていて、細かいことなのですが、少し感心して見ていたところです。

開隆堂を推薦させていただこうと思います。

【是松教育長】 高橋委員。

【高橋委員】 私は、開隆堂と光村図書に絞りました。その絞った観点は、両社とも2年生、3年生の教科書が1冊になっていて、授業では使いやすいということです。

この2社で違いは、まず光村図書のほうは、学習目標が単元の最初というのは非常によく、鑑賞の資料が大きく迫力があって見やすい。ところが折り込みになっているので、これはかえって使いにくいのではないかと。こういったところがあります。

開隆堂のほうは、作品を拡大した資料について、その意図がわかりやすく、生徒の印象に残りやすい。原寸大美術館のページというのは、迫力があって見やすい。こういったところから判断しますと、開隆堂がいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 嵐山委員、お願いいたします。

【嵐山委員】 それぞれおもしろいですが、審議結果の報告で開隆堂がいいとしているので開隆堂がいいと思います。先生が使っていて、教えやすい教科書がいいと思います。開隆堂は、前衛的で思い切っていて、いいですね。それから、針金細工とか、岡本太郎とか、前衛的な部分がありますよね。ダイナミックで、「ああ、これを載せているのか」という。美術1の後ろに載っているのは鉄人28号ですが、これもいいですね。

それから、金沢の鼓門というのは、私はしょっちゅう金沢に行って仕事をしているのですが、金沢

の人は、結構悪く言う門なのですよね。土地の人には意外と評判が悪い。賛否は分かれています。全体的に自由自在な。だから、担当の先生がこの教科書を使って教えるというのは、とてもいいのではないかと考えていますので、これを推します。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

城所委員。

【城所委員】 美術の教科書は、どれを見ても楽しく、きれいな教科書だったなというような印象を持ちました。

その中でも、光村図書と日本文教出版は結構ボリュームもあって、資料の部分も非常に多いなという印象を持ちました。それに引きかえ、開隆堂は、わりとシンプルで、どちらかというといろいろな作家よりは生徒の作品が多く載せられている印象を受けました。

この3社、見させていただいた中で、先ほども山口委員が触れていましたが、最初のページに「美術って何だろう」というのがあるのですけれども、ただ作品をつくるか、何かをたどるというだけではなくて、あらかずことの学びとか感じることの学び、というところから1年生でスタートをして、3年生の最後に、生きることと美術をつないで終わっているのですね。それが開隆堂の姿勢のかなと、私は受け取らせていただいたのですけれども、美術もそういう視点でかかわれるといいのではないかというように思いました。

美術科の場合は、資料集を別に授業中に使うとお聞きしていますので、開隆堂の場合は、生徒の作品がたくさん載っているというところは、授業中に使いやすいのかなと思いました。

伝統文化のほうも、審議結果の報告書に書かれていますけれども、右ページからわざわざ書いてあるということで、これはおもしろい特徴であると、学校のほうから報告を受けました。中を見せていただくと、絵巻物が右から流れているような感じでした。

どれも本当によかったのですが、美術は開隆堂を推薦させていただきたいと思います。

以上です。

【是松教育長】 はい、わかりました。

私は、美術は創作と鑑賞の双方から成り立っていると考えております。

創作については実際、美術の時間は、ほとんど創作活動です。いろいろな美術教材を使いながら、教室で実際に創作をしていく、つくり描いていくということです。直接的な指導は教科書からではなく、担当の美術教員がその技法を指導していくということで、実地の創作活動において教科書を使うことはあまりないのではないかと考えております。そういった意味では、美術の教科書はある意味、鑑賞のほうに重点を置いた教科書がいいのではないかと、そういう持論があります。

この3社の中で鑑賞にいい教科書ということになると、日本文教出版が、美術書的な教科書であると思います。1年生に田中一村の絵が、それから2年生、2・3上では、和紙の版画刷りで富嶽三十六景ですね。北斎が載っています。それから3年生、2・3下では、三十三間堂の千体千手観音像が載っているという、すばらしい美術書的な教科書なので、美術に対する視点を養うという意味では、こういった教科書もいいのではないかなというように思っているところですが、少数派でございます。

美術につきましては皆さん、開隆堂が圧倒的に多いということで、開隆堂を採択することによるしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、美術については、開隆堂を採択することといたします。

続いて、保健体育についてお願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 保健体育は、4社から教科書を出していただいております。推薦するのは学研教育みらい、現在も使っている教科書です。

まず、全体として、保健体育の教科書は、体や心のことであるとか、安全もそうですけれども、一番変化の大きい中学生にとって重要な科目かなと思います。その中で、これから中学生から上の段階にいったときに、豊かな人としての生活を送っていくことにつながっていくような内容のものがいいのかなと、保健体育は、そういう教科だと思っております。

学研教育みらいは、最初に目標やウォームアップ、エクササイズとか、指導していく流れがわかるような工夫があって、あと、イラストや事例も中学生にとってわかりやすい内容かなと思います。さまざまなことを考えるときですけど、一番入りやすいかなと思います。

流れ的に言うと、保健から入って体育にいくつくりのほうが、いいのではないかなと思います。学研教育みらいは、そういうつくりになっています。

今、問題になっていることの一つは、心の教育の問題だと思います。中学生の自殺が出たり、いじめの問題があったり、さまざまな部分ですけども、それについて、私がみる中では、子どもたちの心をとらえて、少し自信を与えるようなつくりになっているのかなと感じたところであります。

東京書籍もさまざま工夫をされていて、キーワードとかイラストとかが充実しており、一回り大きい教科書のサイズになっていて、見やすい部分もある。ただ、その分、使いにくさもあるのかなというように思います。

大日本図書は、スポーツ関係の写真が充実していて、スポーツのよさを伝えようとする工夫がされていると思います。

大修館書店は、かなり細かく専門的で、医療の治療の分野のところなども非常に詳しく載せているなと思いました。

それから、コラムのところで「なぜ生きているのだろう」というのがあり、引きつけられました。

生きることについての言及がされているというのは、もしかしたら、これからの教科書に必要ななってくる内容なのかなと思いました。

全体として学研教育みらいを推薦いたします。

以上です。

【是松教育長】 いかがでしょうか。高橋委員。

【高橋委員】 私は2社に絞り込みました。東京書籍と学研教育みらいです。

東京書籍のほうは、両社に共通していることですが、資料はイラストや写真が十分にあって見やすい。ただ、山口委員が言われたことと関係して、教科書のサイズがB5ワイド版で、イラストや写真が多く見やすい反面、B5サイズのものと比較しますと、机上での作業がやりにくい、使いにくいといったところがあります。

学研教育みらいのほうは、題材が中学生にとって身近で具体的、主体的に取り組めるように工夫がされています。問題解決的な学習が進めやすいという内容の面からいって、学研教育みらいがいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 嵐山委員。

【嵐山委員】 学研教育みらい。みんなと同じ意見です。昔の保健体育の教科書と随分違って、3社とも「薬物乱用をやめよう」というのが入ってますよね。今の教科書は、こういう内容なのかとびっくりしました。私の時代と随分違って、飲酒と健康、酒を飲むなど書かれており、薬物乱用をするなどというのは当たり前ですけど、麻薬、ハーブ、大麻、覚醒剤とか、具体的に写真が載っているから、かえって興味を持ってしまふところがありますよね。あと感染症ですね。教科書の内容が変わってきているのだと思いました。保健体育は、体育の先生が教えるのでしょうか。

【是松教育長】 そうです。

【嵐山委員】 そうですよ。教科書は、学研教育みらいがいいと思います。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 東京書籍が大判なのですが、ワークブック等にして、書き込みをしても使いやすいのではないかなと思いました。ただ、審議結果の報告内容で、1年生、2年生、3年生と割り振りがされていると、保健体育というのは、流動的な授業実数の持ち方等があるらしいので、取りこぼしがあたりとか、そういうことにもなりかねないので、少し遊びの部分が必要なかなと思いました。

学研教育みらいのほうは、2ページで1時間の学習内容で構成されていて、基本的なことをわかりやすく、コンパクトにまとめてつくられている印象でした。あとは、イラストもシンプルで、以前よりもさらに見やすくなって整理されている印象がありました。以前も使わせていただいているのですけれども、保健編、体育編ともに前回よりも整理されていて、よりわかりやすくなっているような印象を持ちました。

全体的に見させていただいた中で、私も学研教育みらいをまた採択させていただけたらどうかと思います。

以上です。

【是松教育長】 保健体育の場合は、体育のほうは、やはり実技指導によるところが多いと思います。したがって、教科書としては保健知識の習得に重きを置いたものになると思っておりませんが、そういった意味では、保健編、体育編のスタートが、どちらかという保健編のほう望ましいのかなというように思います。そういった意味で2社、東京書籍、学研教育みらいが、そのようなつくりになっていますが、東京書籍の場合は学年ごと、保健編と体育編が出てくるというつくりですね。学研教育みらいの場合は保健編があって、そのあとに体育編が出てくるというようにつくりになっています。

いずれも情報量や内容の的確性というところでは、甲乙つけがたいと思いますけれども、東京書籍のほうは、少し判型が大きいかなと思います。正直言って、保健体育は、体育指導があるとなかなか、教科書を使って指導するということは、少ないと思います。そうは言っても、子どもたちはそれを、学校へ持って行かなくてはいけないわけですから、子どもたちの負担を考えると、コンパクトにまとまっており、情報量も多い学研教育みらいがいいのではないかなと思っていますところでは。

それでは皆さん、学研教育みらいということですので、保健体育については学研教育みらいでよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、保健体育は学研教育みらいを採択することといたします。

続いて、技術家庭でございます。まず、技術分野についてお願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 技術家庭は、両方3社ずつ出していただいております。

まず、技術分野ですが、ここで注目したのは、安全に関しての記述がどうなっているのかということです。それが一番、わかりやすかったのが東京書籍かなというように思います。そこで意識をさせていくこと、これは家庭科でも通じる部分があるのですけれども、そういうことは非常に大事なということで、好印象を持ちました。全体的に色や写真のバランスが非常に見やすくなっているという印象を受けました。

最初に言えばよかったのですが、技術分野へのガイダンスというのがあって、開隆堂にもありますが、それが学習内容をつかみやすくしています。あと、P D C Aのサイクルですね。それを意識した作りになっており、子どもたちも意識しながら実際に学習を進めていくことになるということで、一番いいのかなと思います。開隆堂にも、このようなガイダンスはありました。環境との関連などを象徴している、将来に向けての視点が強く出ている点が好印象を持ちました。

教育図書も、巻末の資料が、ほかの2社に比べると見やすくいいのではないかと印象を持っております。

全体的なこととして、東京書籍を推薦したいと思います。

【是松教育長】 ありがとうございます。どうですか。

高橋委員、お願いします。

【高橋委員】 技術分野につきまして、東京書籍と開隆堂の二つに絞ってみました。両社とも、ページが一番下に豆知識、一口知識というような文章があって、会社として工夫しているというところが見られました。

その中でも、東京書籍は写真、資料が多くて、文章だけではなく、図や写真のみでも説明することができる、視覚的な情報が充実しているところから、東京書籍がいいのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 推薦したいのは東京書籍です。構成等が整理されていて、資料の挿入などもよくできていました。表も見やすく、写真等の使用が効果的にされていたと思います。それから、小学校のときに学んだことの記載や、他教科との横断についても書かれているあたりがとてもよかったと思いました。

技術家庭は実技ですので、いろいろ物をつくったりしますが、いきなりつくるというよりも、事前の段階をきちんと踏んで作業に入るという流れが丁寧に説明されていたように思います。あまり細かい説明が入ってしまうと、どうしても中学生には難しいかなというように感じる会社もあったのですが、その点、東京書籍は順を追って作業等に入っていくという段階がとてもよくできていました。

それから今、技術家庭にコンピューターが入ってきていますが、これも大分浸透しているとはいえ、家庭によってばらつきがありますので、初期の段階から順を追って説明して、授業をしていただいたほうがいいのかなと思います。そういった視点から見ても、東京書籍が丁寧によかったと思います。

以上です。

【是松教育長】 ほかにございますか。嵐山委員。

【嵐山委員】 開隆堂と東京書籍、どちらでもいいのですが、審議結果の報告書で先生が、東京書籍を推しているのので、先生の使いやすい東京書籍のほうがいいと思います。

【是松教育長】 まず、教育図書ですけれども、D I Yを前提とした工作指導ですね。現代的でお

もしろいなと思いました。ICTの教育に関して、教育図書の場合は、コンピューターの取り扱い方法、それから活用技術はよく書かれていると思います。ただ、情報モラル、情報セキュリティー、プライバシー保護の記述が少し乏しいように感じました。

開隆堂と東京書籍は、私にとっては甲乙つけがたいのですが、開隆堂の場合、情報量が圧倒的に多く、説明が丁寧になっています。ただ、その分、イラストや写真を小さくせざるを得ないという編集内容になっていまして、字も小さく凝縮されているので、少しよみづらいかなと思います。ICT教育に関しては、情報セキュリティー、情報モラルについて、詳しく丁寧に書かれております。また、巻末のコンピューター基本操作、特に、開隆堂だけだと思うのですが、タブレット端末の基本操作についてしっかり書かれていると思いました。

一方、東京書籍のほうもICT教育に関しては、情報セキュリティー、情報モラルとも、しっかり表記されております。巻末コンピューターの基本操作は、とてもわかりやすいと思います。何よりここの特徴ですが、ページが大きくて見やすいので、工作の手順や技能ポイントがわかりやすいというところが、東京書籍の特徴かなと思います。

私も、嵐山委員がおっしゃられたように、開隆堂と東京書籍は、どちらでもいいのかなと思っております。結果的には東京書籍が皆さん、統一したところでございますので、技術家庭の技術分野については、東京書籍ということによろしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、技術家庭の技術分野は東京書籍を採択することといたします。

続きまして、技術家庭・家庭分野についてお願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 技術家庭・家庭分野は、技術分野と同じ会社が教科書をつくっております。

家庭科の課題も、現在の状況にあわせて深くなってきているなと思ったところです。保育の分野と生活環境そのものについて言及して学ぶということで、今、中学生にもそのことをしっかりと意識してもらうことが必要かなと感じたところです。

これも先ほど言いましたが、安全というところを特に重視していただきたいなと、私の思いとしてはあります。東京書籍がそこをしっかりと意識されてつくっているなと感じております。

それから、東京書籍ですけれども、表紙のところに「自立と共生を目指して」という、まさに目的そのものを書いているというのは、非常にわかりやすいのかなと思います。それは、地域のこととか環境のことをしっかりと意識していく必要があるということを伝えられている部分なので、実際の生活をしていく上で役立つレベルの内容が多く出てきていると感じました。

また、食のところから入っていくというのは、子どもたちにとっては入りやすいと思います。着ることや住むことから、地域や家族、家庭のところに入っていくという流れのほうが、生徒にとっては、スッと入っていきやすいのかなと感じました。

開隆堂は、「持続可能な社会を目指す」としていて、それは技術の分野も同じなのですが、しっかりとまとまっていて、これからどのようなことが必要かという視点をしっかり持たれていると思いました。

教育図書は、自立ということを意識して、自分の足で地に立って、これから人として踏んでいくということが出ています。それともう一つは、食品については資料が非常に細かく出ているなということを感じたところです。全般的にみて、東京書籍を推薦したいと思います。

【是松教育長】 いかがでしょうか。高橋委員。

【高橋委員】 どの教科書もなかなかよくできていて、選ぶのに苦労するところです。ただ、その中でも、東京書籍が食品添加物の問題点についても記述しているとか、何よりも調理実習で子どもたちがつくった作品がどうなるのだろうかという、そのでき上がり写真が非常に美しい仕上げになっているところから、興味・関心を持たせるには非常によくできているのではないかと思います。

ということで、東京書籍がいいと思います。

【是松教育長】 嵐山委員。

【嵐山委員】 東京書籍がいいのは、おいしそうなんだよね。料理のところでは、図版を小さくしていっぱい載せていますが、編集をするのが非常に大変です。

さばの味噌煮は、作り方が載っています。下ごしらえから、盛りつけまで。写真が小さいから、いまいち、うまそうではない気もするのですが、図版で1、2、3、4、5、6とあります。それから、全部丁寧に、魚の下ごしらえから、ラーメン、餃子ときちんときれいに載せていて、食べ物は特に、豚のしょうが焼きがうまそう。やはり食べるものだから興味を持ちます。これは食いしん坊の人が編集したのではないかなと思います。

ただ、87 ページのバラ寿司というのは、見た目には、上にスパゲッティが乗せられているように見えますが、これは錦糸卵だったのですね。もう少し印刷をきれいにしたらよかったのではないかと思います。しかし、全体的には、読んでドキドキするような内容が、よく目配りされた作り方をされているなと思います。東京書籍がいいと思います。

【是松教育長】 城所委員。

私も見させていただいた中で、東京書籍を推薦したいと思います。審議結果の報告書にも書かれています。写真が非常にきれいだということで、今、嵐山委員が発色のことをおっしゃっていましたが、全体的に東京書籍の写真が、特に、食品はきれいに写っているのではないかなと思いました。お肉の写真とか、発色はなかなか難しいと思いますが、実物により近い写真だなというように思いました。盛りつけなども美しくしてあったり、「手ばかり目ばかり」といって、真ん中に折り込みで入っているのですが、実物の写真が載せられていて、大きさがわかるように工夫されていました。そういった点もよかったなと思いました。

今、子どもたちの様子を聞くと、調理実習が初めての調理であるということも、珍しくないということで、さぞ家庭科の先生はご苦労されているのだらうと思います。調理手順もなるべく簡潔でわかりやすいほうがいいと思っています。実際、教科書を見ながらつくるのか、それとも先生が板書してつくるのか、それは授業にお任せのところがあるかと思うのですが、メニューがたくさん載っていて、ちょっと家でやってみようかなと思ったときに、やれそうな内容が載っていたりするの、そのあたりもいいのではないかなと思いました。

衣服のほうでも、基礎・技能が丁寧に写真と図で載せられていて、わかりやすかったと思います。

あとは、小・中学校の連携の視点で、初めのほうに、中学家庭科分野の学習内容が表記されていたので、そのあたりの工夫もよかったと思います。

食品添加物のところも実物大の写真が載せてあって、写真の選別というのですかね、「実際のはこれ」というように見た方が、実生活に戻って、買い物へ行って、ひっくり返して見るとか、そういうことに結びつきやすいのではないかなと思いました。

2 ページ見開きで一つの単元という作りは、ほかのところも工夫はあったのですけれども、特に、

東京書籍のほうでは、見開き一つで完結ということと、他教科の横断ということで、左ページ上のほうに記載があったりしたので、家庭科も保健体育と近いところで、ダブっている内容もあったり、ボリュームがあって、いろいろ入り込んできているなという印象はあるのですが、構成もバランス的にも最もよかったのではないかと思います。

以上です。

【是松教育長】 はい、ありがとうございます。

私も東京書籍を採択したいと思います。もう既に各委員からありましたように、まず、城所委員が今、おっしゃられましたように、冒頭の家庭分野の見通し、振り返りのガイダンスがあるというところがいいなと思いました。それから、これは山口委員からあったのですかね。食生活から始まっているということ、それから衣・住・生活に続いているという、この進め方ですね。これは、いいなと思いました。

それから、私のような男子の苦手とする裁縫の手順や調理手順が非常にわかりやすかったということで、東京書籍を推したいと思います。

それでは皆さん、東京書籍ということですので、技術家庭・家庭分野については東京書籍を採択することによってよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、技術家庭・家庭分野は東京書籍を採択することといたします。

続いて、外国語・英語についてお願いいたします。

山口委員。

【山口委員】 英語に関しては、6社から出されております。

国立市では前回、光村図書を採択させていただいて、それを4年間使っているところだと思います。教科書全体のつくり方を見ると、光村図書がほかと少し違いつくりをしている、考え方をしている部分があって、そこがポイントかなと思います。

結論から言うと、実際に使っている先生をみて、光村図書で十分授業ができていて、成果が上がっていると思います。成績も上がっているという話もあるのですが、しっかりこれが使えているということは、先生から聞いたところです。

光村図書は、まず聞くこと、文法という言葉があまり出てこないような気がするのですが、聞くことからスタートして、実際に英語で考えるようなところから、中学生をスタートさせているということで、それができるような教科書のつくりになっていると思いました。どんな話がこれから展開していくのか。自分の頭で考えて、それを英語でやりとりができるように、聞くことや話すことの場合が非常に多かったり、表現力をつける過程での工夫が出ているように思います。

どの教科書も、生徒が興味・関心を持って外国語、日本の場合は、英語ですが、英語に入っていけるような工夫をされているなと思いましたし、写真が多くて想像力をかきたてるようなつくりにもなっている。あとは、それぞれ付録がついておりまして、それがまた工夫されていて、おもしろいなという印象も持ちました。

全体を通して光村図書を推薦したいと思います。

【是松教育長】 いかがでしょうか。高橋委員。

【高橋委員】 私は三省堂と光村図書、この2社に絞りました。

三省堂は、他社と比べて世界の国々についての題材が多く、国際理解につながる。こういうところ

が、際立っているのかなと思います。それから、この三省堂も光村図書も共通しているところは、問題解決的な学習を取り入れているところだと思います。ただ、三省堂のほうは、英文は精選されているのですが、分量が少ないという点が審議会の報告で指摘されていました。

光村図書のほうは、教科書の中にアクティビティが工夫されていると。さらに、特徴的なのは、問題解決的な学習は学期のごとの「Go for It!」で行える。他社と比べて、個性的なテキスト、個性的過ぎるといえば過ぎるのですが、重視しているのはコミュニケーション活動、表現力を身につけるといところが大きく違っていると。国立でこの教科書を使ってきて、非常に学力も向上して、また、授業としても非常に意欲的に取り組めるといところから、この光村図書を推薦したいと思います。

以上です。

【是松教育長】 城所委員。

【城所委員】 どの教科書も読む・書く・聞く等についてステップアップしていくことが念頭に置かれてつくられているなと感じました。取り上げている話題も環境とか言語、文化、歴史、あとはオリンピック等、身近な、子どもたちが興味を引くようなもので構成されているなと思いました。

あとは、会話の中心にイラストを使った登場人物が、3年間継続して使われていくとか、そのような工夫が、各社いろいろと見られました。

最終的に、実践の場で使えるものを育てていこうという作りは、どの会社でも見受けられました。その中でも、基礎・基本に重点を置いているつくりの教科書と、あとは自学学習に適しているもの、少し難し目のものとか、いろいろありました。最終的には、三省堂と光村図書に絞らせていただきましたが、三省堂のほうは、学習の見通しもはっきりしていて、どちらかという、自分たちが習ってきてなじみやすかった教科書のつくりによく似ていて、基礎・基本をまず習得して、その次にプラクティスというところで、読む・話す・書くことを、さらに基礎を押さえて発展させてというつくりが、バランスよく入っているなと思いました。

また、内容も先ほど高橋委員がおっしゃったように、言語、文化、社会情勢等、多岐にわたって入れられているところが特徴だなと思います。構成も、色調やイラストの活用などが効果的に配置されていて、非常に整理されて見やすいなというように思いました。文法のまとめのところも、とてもシンプルで見やすく、使い勝手がいいなと思いました。

光村図書ですけれども、先ほども皆さんおっしゃったように、国立で前回、採択させていただいて、4年使ってきています。審議会の報告のほうで、特に現場では混乱がなく、この教科書になじみを持って授業を進めていると報告を聞いております。前回の光村図書と今回の光村図書を比較させていただくと、前は、本文のどこに大事なところを置いているのか読み取りづらかったのですが、今回、配置や色を工夫するとか、文字の大きさとか、そういうものの構成等が変わって、非常にわかりやすくなっています。本文があって、その中でこれが重要で、それを入れて会話をつくっているという流れが、見て取れるようになりました。

あとは、光村図書の特徴として、全体的にアクティビティが、英語で考えて英語で答えるというつくりになっています。子どもたちと先生にとっては、少しハードルが高いのかなと思うのですが、今までの積み重ねで、これもやっていけるのではないかと感じました。

イラストも前回よりも少し大人っぽくなって、落ちついた感じがして、その点もいいのではないかと思います。

巻末付録のほうも、比較表現の表とかもとても丁寧に書いてあって、辞書等を使えば、自分で調べられはするのですが、ちょっとした付録のところ、子どもたちの手助けになるのではないかなと思いました。

基本的な感じとしては三省堂がいいのですが、このまま光村図書を選んで、先生たちに使っていただくのがいいのかなと思いました。というわけで、光村図書を推薦させていただこうと思います。

以上です。

【是松教育長】 嵐山委員。

【嵐山委員】 三省堂のニュークラウンがいいと思う。

例えば、リスニング、スピーキング、ライティング、とあるけれども、3年生のところにキング牧師の「I have a dream」が載っています。キング牧師、1955年の記事ですが、いいですね。その次に今度は、ライティングで人物を紹介する記事を書こうと。キング牧師は、どういう人であったのかを自分で書く。教科書の作り方としてはニュークラウンがいいですよ。けれども、光村図書のコロンブスを使って教えるというのは、今までの実績があるわけで、これで学んだ子どもたちは、成績が伸びるということがわかっているわけですから、それでいいと思うのですが、どの教科書がいいかと言われれば、私はニュークラウンのほうが進んでいるような気がします。

【是松教育長】 はい、ありがとうございました。

英語は、平成23年度の採択のときに、初めて英語の教科書をつくって参入してきた光村図書を採択したわけですが、そのときも「そんな冒険して大丈夫か」というような、大変不安なところがありました。各教員の中で「問題解決的な学習を英語でやっていくのは、この教科書なんだ」という強い意思があったので、その意思を信用してこの光村図書を採択したということ、ついこの間に思い出します。

光村図書とほかの英語の教科書とどこが違うのかというところで、私は英語の素人ですけれども、見た限りでは、ダイアログというのですか、対話が圧倒的に多い教科書だと思いました。そういった意味で使い方が、実際の英語学習の中で生きてきているのかなと思います。

東京書籍については、例文の内容がストレートに中学生の興味・関心を引くものではないなという印象を持ちました。また、「daily scene」の会話が2ページにわたっていて、左右に振り分けてあるのですけれども、それぞれ対話形式で子どもたちにやらせる分にはいいのですが、一人でそれを学習しようとする、左見て右見てと、非常に読みづらかったですね。

開隆堂については、ダイアログの会話内容が少し不自然で、無理に英文をつくたなという気がしました。また、巻末のダイアログをもう一度まとめて載せるのは、必要ないというように思いました。

学校図書については、本の大きさが小ぶり、付録資料が乏しいという、全体的に情報量の少なさを感じました。

教育出版は、エッセンシャルの部分は不要かなと思います。教科書が厚ぼったくなって使いづらいですし、あえてつけなくてもということがあります。それから、構文復習リストが英文和訳で縦列になっていて、これも見づらいなというように感じました。

三省堂については、嵐山委員が評価されておりましたが、確かに文化、環境、人権、平和問題等、幅広い題材で英語を学んでいくということになっておりまして、社会科の英語教科書のような感じがします。その分では、子どもたちの興味・関心を英語に引きつけるということではいいのかもしれませんが、結果的に、ダイアログが淡白で分量が少ないということです。

光村図書の特徴としては、非常にダイアログが豊富だということぐらいですね。あと、しいて言えば、3年生で杉原千畝や中学3年生ぐらいの年ごろに漂流して、アメリカ社会で単独で英語やアメリカ社会の文化を勉強していたジョン万次郎の文章が載っています。

そのようなところもあるのですが、結果的に何よりも、この4年間、実質23年採択で24、25、26年と3年間、冒険的な教科書を使いましたけれども、学力テストの結果は大変伸長したというか、伸びています。これが教科書によるものかどうかという分析までは、まだし得ておりませんが、結果は何よりも如実にあらわれております。そういった意味では、今回も同じく、教員が自信をもって光村図書でいきたいということですので、問題解決的な学習を進めていこうという国立市にとって、この光村図書を引き続き使っていくということで、私はよろしいのかなと思います。

それでは、英語のほうは引き続き光村図書ということでよろしゅうございますか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、外国語・英語につきましては、光村図書を採択することといたします。これで中学校の全教科の教科用図書の採択が終わりました。

それでは、確認のために、事務局からきょう採択しました教科書を読み上げ、確認していただきたいと思います。

金子教育指導支援課長、お願いします。

【金子教育指導支援課長】 それでは、採択結果について確認させていただきます。

国語 光村図書出版株式会社、書写 東京書籍株式会社、社会・地理的分野 東京書籍株式会社、社会・歴史的分野 東京書籍株式会社、社会・公民的分野 東京書籍株式会社、地図 株式会社帝国書院、数学 東京書籍株式会社、理科 大日本図書株式会社、音楽・一般 株式会社教育芸術社、音楽・器楽合奏 株式会社教育芸術社、美術 開隆堂出版株式会社、保健体育 株式会社学研教育みらい、技術家庭・技術分野 東京書籍株式会社、技術家庭・家庭分野 東京書籍株式会社、外国語・英語 光村図書出版株式会社。

以上でございます。

【是松教育長】 ただいま、金子教育指導支援課長から全教科について採択書を読み上げていただきましたが、間違いはございませんでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

【是松教育長】 それでは、ただいま金子教育指導支援課長から読み上げられました図書を、平成28年度の国立市立中学校使用教科用図書として採択をいたします。

最後に、本日の教科書採択につきましては、ご審議を熱心に行っていただきました各教育委員、そして、審議のために教科書の調査・研究を行っていただきました教科用図書審議会等調査研究委員会の先生方、そして、さまざまなご意見をお寄せいただきました保護者や市民の皆様には厚くお礼を申し上げます。

平成28年度より国立市立の各中学校におきまして、本日、採択教科書に基づいて、生徒への各教科への指導を行っていただきますが、申し上げるまでもなく、教科指導のよしあしは教科書のみで決まるものではありません。教科書を使いこなす教員の力量に負うところが非常に大なるものでございます。先生方におかれましては、採択教科書の効果的な活用研究をしっかりと行っていただき、生徒への教科への興味・関心を引きつけ、生徒にとって学習の理解を深める授業展開のためにご活用くださることを、教育委員会として願っているところでございます。

それでは、これで議案第 45 号、中学校教科用図書的全教科書採択についての審議を終了いたします。どうもありがとうございました。

なお、次回の教育委員会は、定例会を 8 月 25 日火曜日、午後 2 時から、会場は教育委員室で開催することが決定しております。

以上をもちまして、本日の臨時会を閉会いたします。

傍聴の皆様、大変お疲れさまでございました。

午後 4 時 3 0 分閉会